

科目名	実務研修	英語科目名	Internship	
開講年度・学期	平成 24 年度・前期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻電子制御工学コース 1 年	
授業形態	実習	必修 or 選択	必修	
単位数	2 単位	単位種類	学修単位 45h	
担当教員	電子制御工学コース全教員	居室（もしくは所属）	電子制御工学科棟, 専攻科棟	
電話	0285-20-2254（平田）他	E-mail	hirata@oyama-ct.ac.jp（平田）他	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件	
	企業および研究機関等の研究室・技術開発室・製造工程部署等において、専攻課程で修得した知識の適用方法・研究および技術の実態を、現場担当者の指導の下に実務経験を積ませ、実社会において協調性および創造性のある幅広い開発型研究技術者を養成する。			
	1. 予め研修先の情報を入力し、基礎及び専門科目の知識を元に十分な研修計画を行えること。	㊦	A-1, D-1, D-2, D-3O	b, c, f
2. 理論の学習および実験を通じて修得した知識と技能を実地に生かすにはどうしたらよいかを学ぶ。	㊦	A-1, D-1, D-2, D-3O	b, c, f	
3. 設計や製造現場における工学の適用状況を説明できること。	㊦	A-1, D-1, D-2, D-3O	b, c, f	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1.実務研修に関して、あらかじめ基礎、専門科目の知識を元に、十分な研修計画を行っていること。 2.研修中における研修先の指導者の評価(研修成果・積極性・理解度・職場規律など)。 3.実務研修の内容を口頭及び文章等で適切に発表できること。 以上3点に関して評価する。1、3は特別研究指導教員、3は特別研究指導教員、他教員2名、計3名で評価する。 2は研修先指導者の評価による。				
評価方法				
達成度を点数で評価する。1、3は指導教員が10点満点で、3は他教員2名による計10点満点の評価を行う。この評価に、研修先指導者の評価(満点80点)を加えて100点満点で評価する。				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
研修先の指導者に従う。 近年の研修先 ・セイコーエプソン ・シンデン ・メタウォーター ・産業技術総合研究所 ・物質材料研究機構 ・海上技術安全研究所 等	研修先により異なる。			
			自学自習時間合計	
キーワード	インターンシップ			
教科書	研修先により異なる。			
参考書	研修先により異なる。			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	全科目			
現学年の関連科目	全科目			
次年度以降の関連科目	全科目			
連絡事項				
事前に研修予定企業と打ち合わせを行い、研修の内容を決定する。 研修時期は原則として夏休み期間中とし、2週間の期間を必要とする。 社会人として企業などに就職する前に、短期間ながら企業の仕事に携わることが出来るので、将来の仕事への適応性などを念頭に置きつつ研修を行うと良い。また、学校とは異なる視点から評価されることから、社会人としての資質などを考える良い機会となる。				
シラバス作成年月日	平成 24 年 5 月 24 日			